

PREX-KIAC 友好協定締結 1周年記念 セミナーを開催

事務局長 鳥居 純一

KIAC と PREX (太平洋人材交流センター) との友好協定締結 1周年を記念して 6月 12日 国民會館にて『いま、なぜベトナムか?』と題してセミナーを開催。参加者は 60名の定員を超え盛況であった。最初に共催の **PREX 専務理事 北村耕一氏**より PREX の全般的な事業活動の紹介があり、引き続き **JICA 関西所長 築野元則氏**から「中小企業のベトナム展開と ODA による支援」をテーマに公的支援機関の立場よりお話頂いた。

次に現在ベトナムで事業展開されている **富士インパルス株式会社社長 山田邦雄氏**が「わが社のベトナム戦略」について話された。同氏は今朝、ベトナムから帰国されたばかりで、ホットなお話を披露頂き非常に好評であった。

近畿経済産業局・国際事業課長 細川洋一氏から「ベトナムのビジネス環境」と題して国の取組をご説明頂きセミナー終了。引き続き講師の方々を囲んでの懇親会では、直接講師の方々との質疑に多くの輪ができ時間オーバーするありさまであった。



後日、多くの方々から、このような興味あるセミナーの要望を数多く頂き、主催者として非常に光

栄であった。次回のセミナーもご期待いただきたい。

平成 26 年度(第 5 回) 定時社員総会を開催

理事 谷 厳夫

6月 12日(木) 中央区大手前の国民會館住友生命ビル小ホールにて開催し、議長 代表理事 大槻眞一の議事進行で以下の議案審議を行い承認された。

- 1 第 1 号議案 第 4 期事業報告、収支決算報告、監査報告
- 2 第 2 号議案 第 5 期事業計画、収支予算の承認
- 3 第 3 号議案 理事及び監事の選任

第 4 期事業の概要

オープンイノベーション事業： 近経局委託事業を 4 年連続で受託、関西エリア内の中堅・中小企業からのニーズ・シーズ収集及びマッチング実施、また中国地方など関西を超え、広域の組織団体とも連携をめざした活動を開始。近経局提出報告書にはオープンイノベーションに関する 2つの提言を示した。 **専門家紹介事業：** 経産省「地域需要創造型企業・創業促進事業」等への人的支援。 **海外支援事業：** 海外サポートセンターの活動案内を近経局、中小企業基盤整備機構、PREX、堺市等へ説明。 **大学改革支援事業：** 三者協定締結の羽衣国際大学をはじめ複数の大学への事業提案および連携打診。 **ビジネスマッチング事業：** 新たな取り組みとして商縁プラザと共催でプレゼン会を開催。 **セミナー事業：** 日刊工業新聞社との共催により 2月に開催し、充実した内容の講演で参加者の多くから高い評価を得た。

第 5 期 事業実施の方針

日本の経済環境はアベノミクスにおける第三の矢「成長戦略」の動向に期待がかかっている。市場では消費税の増税による影響は徐々に表れてくるものと思われるが、依然不確定要因の多い環境下にあることは否めない。今後これらがどのように中小企業に影響を及ぼすかは未知数であり、決して楽観できる状況にないことは間違いない。しかしながら少子高齢化などの社会環境の変化は明白であり、社会的トレンドである海外事業展開や外国人労働者の問題や課題を正しく把握し、それを上手く KIAC の活動に取り入れていく必要性が求められる。

社会的トレンドの波に乗りつつ、関西地域の企業が有

する優れた分野や特徴あるユニークな技術や商品、サービスにおいて産官学が一丸となり成長戦略を練り上げ、新たな目標に向けてうまく連携し実質的な経済成長の実現に寄与したい。KIACは大所高所の観点に立ちつつも足元の課題解決のため「着眼大局、着手小局」のスタンスで地域産業の活性化支援に向け、豊富な人材と経験やノウハウをフルに活用し経済成長の一端を担う。

平成26年度「オープンイノベーション手法を活用した戦略的アライアンス構築等に向けた基礎調査」 受託事業について

担当理事 福井 英志

7月10日に近経局より「平成26年度オープンイノベーション手法を活用した戦略的アライアンス構築等に向けた基礎調査」を受託したので、以下その概要を述べる。

わが国は、産業の国際競争力の強化とともに、地域経済を支える新事業・新産業の創出に向け新たな産業クラスターの計画が進められている。

この新産業クラスター計画は、グローバル・ニッチトップ企業の新商品や新技術をその技術課題に対するソリューションから生み出すべく、技術立国日本及び世界に通用するすばらしい技術を生み出すために重要課題と位置付けている。

そこで、近畿経済産業局は、平成26年度から新産業クラスター構築に資する技術課題やその情報収集を行うために調査を行うことになった。

具体的にその入手すべき情報は、

- (1) オープンイノベーション手法を活用したビジネスマッチングに関する取り組み状況、ご意向、課題・抱えている技術的課題等について
 - (2) 地域中・小・ベンチャー企業との戦略的アライアンスや新たなサプライヤーチェーンの構築等に関するニーズ、技術課題等について
 - (3) 近畿経済産業局との取り組みとの連携の可能性について
 - (4) 政策要望等について
 - (5) 今後の予定/進む方向・狙い・提言等について
- である。

本受託事業は、当関西産業活性協議会傘下の会員が大企業のリタイアードが多いことから、その方の現役

時代のネットワークを活用し川下企業のニーズの調査を進めることにした。

更に調査対象企業は、近畿圏内技術分野を勘案して、先ず15社を選定しその中から11社を決め、各社2回訪問する。訪問企業担当コーディネータは、当該会社出身者を選び委託を行った。

7月15日PT会議、7月22日CD全体会議開催に従い、現在、2回の企業訪問が済みその取り纏めや全体的な纏めの擦り合わせ等に傾注している。



これら調査報告書は、12月1日に調査成果報告書として近経局へ提出すべく、鋭意活動中である。

海外展開支援フェスタに参加出展

事務局長 鳥居 純一

9月4日に大阪市都市型産業振興センター主催の『海外展開支援フェスタ』が産創館にて開催、KIACはブースを構え海外SCメンバー3名が交替で来場者の相談対応にあたった。この催しは、海外進出、販路開拓等で事業展開を考えている或いは現在問題を抱えている中小企業に対し、支援活動を行っている国内外の団体が相談に乗り必要なサポートを実施する目的で開催され、来場者総数は365名、相談内容は多岐にわたるものであった。

今回KIACが対応した案件は10件程度であった。相談内容のうち数例をあげると、現在ソロバン教室を国内で展開、一部海外で展開しているが、さらに国・地域を広めたい。

アパレル事業を国内で展開しているが、欧米の主要都市で事業を展開したい。その為の即実践できる人材やその分野に精通している人を紹介して欲しい。工作機器メーカーでは受け身の海外事業を一転して、積極的に市場開拓を推進したい、その為に有望市場に於ける代理店の発掘に力を貸して欲しい、等々の要望を受けた。

これらの支援要望に対し、KIAC内部で人材募集をかけたが、相談相手も当日出展の複数支援団体へ相談。結果的には即断即決した支援団体とで話がまとまり、

残念ながら KIAC の支援には至らなかったが、引き続き積極的に KIAC の知名度の向上を図り、支援に結び付く活動を行って参りたいと思っている。

大学支援事業の取り組み

担当理事 山崎 健一郎

大学支援事業は「キャリア教育に関する支援・講師派遣」と「大学改革支援プロジェクトによる、大学と地域との連携に関する支援」に取り組んでいる。

プロジェクトでは、大学と地域(自治体・中小企業)との繋がりをサポートして行くための具体的なプログラムを作成し、既に6大学に対して提案活動を実施した。我々の活動に賛同頂き、賛助会員になって頂いている大学も徐々に増えて来ている。

羽衣国際大学では、昨年10月に大阪府中小企業家同友会と友好協定を締結し、春季・夏季のインターンシップの実施、今年6月には「キャリアデザイン論」に同友会メンバーが講師となった。

今後の取組として、大学に対して**継続的な情報提供**を行って行く必要がある。そのために、中小企業家同友会・太平洋人材交流センター等との更なる情報交換、文部科学省の大学政策の研究、支援メニューの充実、プロジェクトの体制強化等に取り組んで行きたい。

現在、新しい教育法として注目されている「**PBL (Project Based Learning) : 課題解決型学習**」も提案して行く予定である。

マッチングプラザ企業紹介

前理事 加藤 正芳

今年度、KIAC と商縁プラザが共同開催したプレゼン会社の概要を紹介します。ご一読頂き、プレゼン企業のマッチング先の紹介が行える方、及びもう少し詳しくお知りになりたい方は、

KIAC、または商縁プラザにご一報ください。

■ 6月プレゼン会社

1. SST 設計開発センター株式会社

商品：防虫防除ネットワークシステム

ネットワークカメラ一体型捕虫器で飛翔昆虫の常時監視を行う。また、捕獲昆虫の分析と発生要因を推定し、防除対策を策定する。データベースを蓄積し、活用する。食品業界をはじめ、色々な

分野での応用が考えられる。

2. 株式会社ペーパーワールド

商品：段ボール製品

一般的な段ボール箱からオリジナルのパッケージまで用途に応じて最適な形状、デザイン、素材を提供する。

ミルダン：牛乳パックや紙コップを再生利用して作られる工作キット

オトガミ：iPhone 専用の紙製スピーカー

干支紙細工：段ボールではなく、紙や板紙を用いて干支をデザインした紙細工で、年賀状にも使える。

■ 9月プレゼン会社

1. メインソリューション株式会社

商品：次世代インフラクラウド「日本電子商取引」

世界のビジネスがネット上で取引できる時代に向け、一般社団法人日本電子商取引を創設。

双方向が話し合いの出来るインタラクティブ商談を企画している。他のマッチングは Web 上で行うが、商談ツールとして無料配布しているクラウドアプリ enclo を用いて行う予定。

2. 大峰化学株式会社

商品：オオミネプロネジ

ナイロン樹脂を頭に持つ金属ネジ。少量多品種生産により、あらゆる場面に対応したネジを製作できる。現在、医療機器分野、装飾部品、産業 装置分野、建材など多方面で使用されている。

シリーズ・会員団体紹介

特定非営利活動法人 商縁プラザ

商縁プラザ副理事長 遠家 須磨子

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-200

大阪駅前第2ビル2F

(有)エンケ・エンタープライズ内 会員46名

★NPO法人商縁プラザは、ベンチャー・中小企業の販路マッチングをお手伝いし、商品と企業を育てるプロ集団です。理事を含む会員は、大手・中堅企業などでこれまで培ってきた経験や知識・技術を少しでも社会に役立てられないかと考えているひとの集まりです。良い商品が出来た、素晴らしいシステムが開発できた、なのに売り先が無い、そんな中小企業・ベンチャー企業を支援します。

★我々の活動は(社)関西産業活性協議会・(社)大阪府産業支援型NPO協議会、(独)中小企業基盤整備機構、神戸商工会議所等、多くの団体・組織とタイアップして行われております。

★商縁プラザの事業紹介

- ①ビジネスマッチング「商い縁むすび広場」毎月4水曜日18:00からプレゼン会・懇親会を開催
- ②「商縁 Business Express」メールマガジンの発行
紙上ビジネスマッチング、企業・商品紹介・代理店募集、商品サポート、その他
- ③「商縁たより」の発行
- ④コンサルティング事業(商縁プラザの賛助会員、中小・ベンチャーの支援)

★沿革

平成14年、NPO法人新現役ネットのビジネスチャンス交流会のコアメンバーを母体としてMN関西グループを設立、近畿経済産業局のプレゼン会等で活動。

平成16年、NPO法人商縁プラザと改名、現在に至る。

★商縁プラザは現役時代の経験を生かしたい人、私達の種々の事業に関心のある人を広く求めています。

- ・中小企業育成やビジネスマッチングをしたい
- ・会員・理事になりたい
- ・「商縁 Business Express」の読者になりたい
- ・「商い縁むすび広場」に参加したい
- ・「商縁たより」の読者になりたい

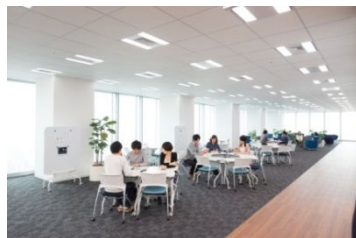


協賛団体 阪南大学
あべのハルカスに
キャンパスオープン

学長室社会連携課

課長 鶴谷 昌也

「阪南大学あべのハルカスキャンパス」は、2014年3月に日本一の超高層ビル「あべのハルカス」の23階に開設しました。良好な立地環境を活かし、学生の就職活動の支援やゼミや授業での活用、社会人向けの公開講座等、自治体や企業との連携事業などを行い、本学の教育研究活動の情



報発信の拠点として、今後幅広く利用していきます。

就職活動を行う学生には、専門のキャリアアドバイザーが相談に応じる他、企業経営者には、専門の経営アドバイザーが経営に関する相談を無料で受けることができます。

今後は、学園全体の広報拠点はもちろんですが、学生支援の他に、社会人向けの公開講座、経営者に対する支援セミナーや女性経営者に関する講座等も外部機関と連携しながら実施する予定にしております。



ABUNAI, YAMETOKE !

KIAC 代表理事 大槻 眞一

シリコンバレーで20年も昔。

オーストラリアのIT研究者(パナソニック社)から、ベンチャー・スピリットなるものを教えてもらった。

戴いたメモには、

「もしも、あなたが次のことをすべて同時に行ったら、あなたの奥さんや、両親や、親友はなんというでしょうか?」とあり、

「(a) 今の仕事は辞める、(b) 今までコツコツ貯めたお金を全部使う(子供の教育費も)、(c) 無給で週80時間働く、(d) 大きな借金(例えば2000万円のローンを組む)」何故なら、これまで思いつかなかった素晴らしいビジネスを始めたいと思ったからである。

だが英国では、「冗談だろう。一体全体そんな事をし何になるんだい」と、言われる。

オーストラリアでは、「お前さん、いつからそんなに偉くなったんだい」と、日本では「ABUNAI, YAMETOKE」と。しかし、アメリカでは「え! 本当かい。それは素晴らしい。おめでとう。私も自分のビジネスをやりたいものだ」である。

もとよりシリコンバレーの長年にわたる繁栄の素は、このベンチャー・スピリットだけではない。企業間に競争と協力が共存していることも大きく貢献していよう。シリコンバレーに似て、東大阪の産業群も、企業間の激しい競争だけでなく、協力関係もある。しかし、さらなる地域産業の発展や、地域の創生には豊かな企業間の協力(ジョイント・ベンチャー)づくりが必要である。その点では、まだまだシリコンバレーから学ぶべきことが多い。と同時に、いよいよ中小企業の発展を目指すKIACの出番でもある。